

2023 年度

せんだいメディアテーク年報
sendai mediatheque annual report



せんだいメディアテーク
sendai mediatheque

はじめに

世界的猛威をふるった新型コロナウイルス感染症が、国内では季節性インフルエンザと同じ扱いになった2023年春。当館においては、そのコロナ禍や照明等の改修工事を経て、久しぶりに一年を通して開館できる年度となりました。私たちの暮らしが元通りになったのか、あらたな「当たり前」と共に生きているのか評するにはまだ時間が必要ですが、施設の利用や事業への参加状況を見る限り、市民の生涯学習活動、芸術文化活動は確実に活力を取り戻しつつあるように見えます。

この2023年度は、都市の整備のために消えてしまった地区とその生活を展覧会という仕掛けを通して振り返る『自治とバケツと、さいかちの実—エピソードでたぐる追廻住宅—』、8年目となり若林区井土地区に活動範囲を広げた「せんだいアート・ノード・プロジェクト：川俣正／仙台インプログレス」を筆頭に、地域とそこに住まう人の記憶を掘り起こし、アートやメディアの力を使いながら現在そして未来に接続する取り組みのひとつの「型」を見出したように思われます。

スタジオを拠点とした市民協働型のプロジェクト「メディア・スタディーズ」では、再び多くの方々がさまざまな取り組みを行いました。特に7階スタジオaの考えるテーブルでは、活発にてつがくカフェが催され、現代の結婚観を問い直す「結婚の定義」シリーズや、10・20代を対象とした「ユースてつがくカフェ」が開かれています。また、奇しくも仙台市役所の解体が始まった年、昭和の建築物の魅力を探ろうとする「たてもの観察同好会」(活動主体：SASSA)が立ち上がりました。

また、事業体系を再編し「コミュニティ・アーカイブ」にあらためて正面から向き合った今年度は、継続してきた「3がつ11にちをわすれないためにセンター」が首都圏の高校や大学の授業実践ともつながるなど拡がりを見せたほか、映画フィルムや写真に収められた地域の記録が、当館での上映会や展示にとどまらず、市民センターなど地域の学びの現場で活用される例が続きました。

ほかにもさまざまな取り組みがあった一年でしたが、最後に、日本の写真芸術を牽引しつつ30年の幕を下ろした公募展の軌跡をたどる「写真新世紀30周年記念展—写真ができること、写真でできたこと」、ウクライナで編まれた『戦争語彙集』(発行：岩波書店)の編著者で詩人のオスタップ・スリヴィンスキー氏、翻訳者で日本文化研究者のロバート・キャンベル氏を当館館長の鷲田清一が迎えた「体験を言葉にすること—『戦争語彙集』を読む」も挙げておきたいと思います。本報告を通じて、館が、地域や人、そして世界と歴史へつなげるノード(結節点)の一端となり得たか、この一年を振り返っていただければ幸いです。

2024年8月

1	文化・芸術への取り組み	
1-1	展覧会 自治とバケツと、さいかちの実 ーエピソードでたぐる追廻住宅ー	07
1-2	せんだい・アート・ノード・プロジェクト	09
	1 川俣正／仙台インプログレス	
	2 藤浩志／ワケあり雑がみ部	
	3 『飯川雄大 デコレータークラブ』刊行	
	4 ARCADE	
	5 JOURNAL	
	6 MEETING	
	7 資源循環の杜へ せんだいリポート	
1-3	館長発信事業 鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん	21
1-4	3がつ11にちをわすれないためにセンター特別講演 体験を言葉にすることー『戦争語彙集』を読むー	23
1-5	smtシネマ	25
	1 映像の仙台史3	
	2 未来への映画便 in 仙台	
	3 一本の(映画／映像／動画…)から考える〇〇のこと	
1-6	せんだいデザインリーグ2024 卒業設計日本一決定戦	28
1-7	ショートピース!仙台短篇映画祭2022	30
1-8	写真新世紀30周年記念展 ー写真ができること、写真でできたことー	32
2	協働と支援	
2-1	メディア・スタディーズ	34
	1 てつがくカフェ	
	2 ユースてつがくカフェ	
	3 細倉を記録した寺崎英子の写真アーカイブ	
	4 どこコレ?ーおしえてください昭和のセンダイ	
	5 民話 声の図書室	
	6 みやぎシネマクラドル	
	7 知る 続く 在来作物プロジェクト	
	8 結婚の定義	
	9 活版印刷工房	
	10-17 そのほかのプロジェクト	
2-2	バリアフリー・デザイン	52
	1 手ではなすおはなしの会	
	2 手ではなすおはなしの会@にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば	
	3 手話による読み聞かせボランティア養成講座	
	4 手話読み聞かせステップアップ講座	
	5 スウプノアカデミア2023	

- 6 「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」東北ブロック
- 7 としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示

3 コミュニティ・アーカイブ

- 3-1 3がつ11にちをわすれないためにセンター 59
 - 1 星空と路ー3がつ11にちをわすれないためにー
 - 2 常設展示「わすれん!資料室」
 - 3 3がつ11にちをわすれないためにセンター特別講演
体験を言葉にすることー『戦争語彙集』を読む(再掲)
 - 4 外部機関への主な協力出展等
- 3-2 コミュニティ・アーカイブ・ラボラトリー 63
- 3-3 地域資料の収集 64
 - 1 資料の収集・整理
 - 2 資料の活用

4 さまざまな連携

- 4-1 仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)..... 67
- 4-2 定禅寺通イベント共催事業等 69
 - 1 とっておきの音楽祭2023
 - 2 仙台・青葉まつり「お祭り広場」(せんだいメディアテーク会場)
 - 3 定禅寺ストリートジャズフェスティバル
(せんだいメディアテーク会場)
- 4-3 学校との取り組み 72
- 4-4 仙台市民図書館との取り組み 72

5 ライブラリー・サービス

- 5-1 映像音響ライブラリー 74
- 5-2 視聴覚障害者情報ライブラリー (バリアフリー・ライブラリー) 74
- 5-3 インターネットを通じた資料提供 75

6 本・DVD等の発行物

- 6-1 書籍や報告書等の印刷物 77
- 6-2 DVDメディア等の映像音響資料 77
- 6-3 紙やインターネットを通じた定期発行等 80
- 6-4 その他常備している印刷物 80

7 イベント一覧(時系列) 82

8 施設運営

- 8-1 施設概要 87
- 8-2 沿革 87

8-3	収支	88
8-4	施設使用実績	89
8-5	仙台市メディアテーク条例	89

+

—

+

1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

+

+

1

1-1

展覧会

自治とバケツと、さいかちの実
—エピソードでたぐる追廻住宅—
おいまわし

2023年、仙台市川内追廻地区が青葉山公園になりました。この場所にかつてあった追廻住宅の77年にわたる歴史や暮らしを振り返る展覧会。構成・制作に地域の人々の営みを調べ表現するアーティスト、佐々瞬氏、伊達伸明氏を迎え、自らの手でつくりだしてきた生活のありようと街の姿について、個々の目線から街の点描を試みました。

会期：2023年11月3日-12月24日 10:30-18:30

会場：6fギャラリー 4200

入場・参加者数：4,632名

入場料等：高校生以下無料、一般500円（大学生・専門学生含む）、
65歳以上の市民や障害者手帳をお持ちのかたは半額

協力：新田住宅親和会、

青葉山公園・仙臺緑彩館（青葉山エリアマネジメント）、仙台市民図書館

助成：一般財団法人 地域創造

後援：NHK仙台放送局、tbc東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、

khb東日本放送、河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、

毎日新聞仙台支局、産経新聞仙台支局、日本経済新聞社仙台支局、

仙台リビング新聞社、せんだいタウン情報S-style、エフエム仙台、

ラジオ3FM76.2MHz



【関連企画】

ギャラリートーク

かつてあった追廻住宅の77年にわたる歴史や暮らしを振り返る展覧会を、制作したアーティスト(佐々瞬氏、伊達伸明氏)が解説しました。

会期：2023年11月5日、

2023年12月2日

両日13:30-15:00

会場：6f ギャラリー 4200

入場・参加者数：87名

入場料等：展覧会に同じ

助成：一般財団法人 地域創造



1-2

せんだい・アート・ノード・プロジェクト

art node

「優れたアーティストのユニークな視点と仕事」と、地域の「人材、資源、課題」をつなぐアートプロジェクト。

アートノードでは、アーティストが仙台・東北をリサーチし、同時代性のある現代アート作品を制作、さまざまなプロジェクトを展開します。そして、調査、企画、制作、発表までの過程を人々と共有し、鑑賞にとどまらない活動への接点をつくることで、より多くの人に関わり、熱のある「アートの現場」を仙台につくりだしていきます。

1-2-1

川俣正／仙台インプログレス

フランスを拠点に国際的に活躍するアーティスト・川俣正氏が仙台市沿岸部で展開するプロジェクト。2023年度は、若林区井土地区に活動エリアを広げて初めての実施となりました。井土地区の現状のリサーチから始まり、震災以降、井土にはベンチもなくひと休みするところもないという住民や元住民の声から《井土浜パーゴラ》、《テーブル》、《ベンチ》を制作することになりました。井土町内会等主催の「井土プチマルシェ」では、ベンチ制作ワークショップを開催しました。宮城野区新浜地区では《みんなの橋(テンポラリー)》を再制作し、新浜町内会主催のイベントに協力しました。また、仙台インプログレスの専用ウェブサイト(日英)を整備しました。

会期：通年

会場：仙台市沿岸部、1f エレベーターホール、7f ラウンジ

協力：新浜町内会、貞山運河倶楽部、井土町内会、井土まちづくり推進委員会



[イベント等]

みんなの橋(テンポラリー)再制作

イベントのため、貞山運河を渡ることのできる舟橋として設置しました。

会期：2023年8月4日-8月6日

会場：仙台市宮城野区

岡田新浜地区 貞山運河

入場・参加者数：75名

入場料等：無料



**井戸浜パーゴラ・テーブル・
ベンチの制作、
ベンチ制作ワークショップ**

作品は井土地区のメインストリート
に設置しました。ワークショップで
は仙台インプログレスの焼き印が
入ったベンチをつくりました。

会期：2023年8月7日-8月11日
会場：仙台市若林区井土字宅地
入場・参加者数：110名
入場料等：無料



**川俣正／仙台インプログレス
報告展**

スケッチや模型、映像でこれまでの
活動を紹介しました。
会期：2024年3月1日-5月30日
9:00-22:00

会場：1f エレベーターホール、
7f ラウンジ

入場・参加者数：72,354名

入場料等：無料

協力：東北芸術工科大学企画構想
学科 田澤紘子ゼミ、
東北芸術工科大学建築・環境デザ
イン学科 加藤優一ゼミ



**川俣正／仙台インプログレス
ウェブサイトの整備**

仙台インプログレスの活動を国際
的に広く紹介するためウェブサイト
を整備しました。

<https://sendaiinprogress.smt.jp>
助成：公益財団法人小笠原敏晶記
念財団

[協力イベント]

新浜 貞山運河小屋めぐり

会期：2023年5月21日、7月23日、
11月18日、3月10日
会場：仙台市宮城野区
岡田新浜地区
主催：貞山運河倶楽部、となりの畑
協力：せんだいメディアテーク、
新浜町内会

**貞山運河の渡し舟と
新浜フットパス2023**

会期：2023年8月6日、10月15日
会場：仙台市宮城野区
岡田新浜地区
主催：新浜町内会
協力：貞山運河倶楽部、
NPO 法人水・環境ネット東北、
東北学院大学 平吹ゼミ・菊池ゼミ、
カントリーパーク新浜、
せんだいメディアテーク

井土プチマルシェ

会期：2023年8月11日、
10月28日

会場：仙台市若林区井土地区

主催：井土町内会、
井土まちづくり推進委員会、
井戸実行組合

協力：海楽寺、長稱寺、
六郷南部実践組合、
元・東六郷小おやじの会、
一般社団法人 ReRoots、
NPO 法人冒険あそび場－せんだ
い・みやぎネットワーク、
むかい＊いきもの研究所、
せんだいメディアテーク、
荒浜のめぐみキッチン、

NPO きらきら発電・市民共同発電
所、
東北芸術工科大学デザイン工学部
企画構想学科田澤ゼミ

貞山運河フォーラム

－暮らしを楽しむ運河へ－

会期：2024年2月18日

13:30-15:30

会場：仙台市市民活動サポートセ
ンター 6階 セミナーホール

主催：貞山運河倶楽部

協力：となりの畑、
せんだいメディアテーク、
新浜町内会、
NPO 法人水・環境ネット東北

1-2-2

藤浩志／ワケあり雑がみ部

不要物を利用した作品やシステムづくりで知られるアーティストの藤浩志氏によるプロジェクト。仙台市のごみ分別区分のひとつである「雑がみ」を収集・分類し、それらを素材に自由な造形活動を楽しみました。また、周辺商店街での七夕や、各種団体のイベントなどに協力しました。

会期：2023年6月9日、6月10日、7月7日、7月8日、8月4日、8月5日、
9月8日、9月9日、10月13日、10月14日、11月10日、11月11日、12月8日、
12月9日(全14回)

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：468名

入場料等：無料

協力：仙台市環境局

助成：一般財団法人 地域創造



[イベント]

ワケあり雑がみ部的 大人の分別

Joy of Separation

部長の藤浩志氏とともに愉しむための分別に取り組みました。

会期：2023年8月4日

10:30-16:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：240名

入場料等：無料

協力：仙台市環境局

助成：一般財団法人 地域創造



トークイベント

雑がみさんいらっしゃい!

部員さんをゲストに招き、その「発想」にスポットをあてたトークイベント。

会期：2023年8月4日

13:00-14:00

会場：1f オープンスクエア

入場料等：無料

司会：藤浩志、
ほんだあい(喫茶 frame)

展示で雑がみ部

雑がみ部員がこれまでに制作した作品を個展形式で紹介しました。

会期：2023年7月11日-10月15日
(Vol.4 Jun)、2023年11月1日
-2024年1月31日(Vol.5 mari)、
2024年2月22日-5月31日
(Vol.6 おりがみくん)
会場：1f 定禅寺通側

入場・参加者数：28,960名(Vol.4)、
11,577名(Vol.5)、8,064名(Vol.6、
2023年3月31日時点)

入場料等：無料



1-2-3

『飯川雄大 デコレータークラブ』刊行

アーティスト・飯川雄大氏の初作品集『飯川雄大 デコレータークラブ』を刊行しました。本書は、飯川氏が2007年から手掛け続けてきた「デコレータークラブ」のほぼ全作を図版とテキストで紹介するほか、木村絵理子氏、イ・アルム氏、五十嵐太郎氏ら有識者の論考を収録しています。また後半は、せんだいメディアテークと共に初の公共空間での《ピンクの猫の小林さん》の展示を目指し、一旦断念に至った経緯を収録しています。

編集：甲斐賢治、田中千秋、丹治圭蔵(せんだいメディアテーク)、内田伸一
デザイン：高見清史(view from above)

発行日：2024年3月31日

発行：株式会社赤々舎、せんだいメディアテーク

価格：5,500円



1-2-4



[イベント]

ARCADE

コロナ禍などの影響を受けている仙台市中心市街地において、文化面での交流を促進すべくARCADE(アーケード)と題し、アーティストと共に活動を行います。

○△□(まるさんかくしかく)の 表現論

仙台で新たなプロジェクトを画策しているアーティスト笹原晃平氏が、作品や展覧会というアートの枠組みを独自に解釈した自身の実践についてレクチャーを行いました。

会期：2024年2月2日

19:00-20:30

会場：even(仙台フォーラス7階)

入場・参加者数：9名

入場料等：一般500円、「仙台藝術舎／creek」コース受講生は無料

主催：仙台藝術舎／creek

共催：アートノード

(せんだいメディアテーク)

協力：井丰《(きょうかいせん)



お会計先送りワーキンググループ

「貨幣を介さない交換経済」についてアーティスト笹原晃平氏が考えたプロジェクトに子どもたちや仙台フォーラスの店舗に協力してもらい試験的な実践を行いました。子どもたちと「お金」や「交換すること」の仕組みについて考えることができたとともに、プロジェクトの検証の機会となりました。

会期：2024年2月3日

13:00-16:00

会場：仙台フォーラス

入場・参加者数：12名

入場料等：無料

協力：even、若林緑(東北大学
大学院経済学研究科教授)



そんたくズ

「メタバース牛さらい」

2/24(土)、25(日)の2日間で開催された「ラス前ミュージックフェス」(主催：仙台フォーラス)で、現代アーティストでありコントアーティストである「そんたくズ」がパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げました。

会期：2024年2月24日-2月25日

会場：仙台フォーラス

入場・参加者数：500名

入場料等：無料

協力：仙台フォーラス、even



JOURNAL

JOURNAL

アートノード・プロジェクトについて広く伝えるとともに、地域の資源や課題と現代アートの関係を可視化・記録していく印刷物。

『アートノード・ジャーナル 11号』

「え？どうしてここでアート？ in 東北」と題して、岩手県金ヶ崎町の金ヶ崎芸術高等学校代表・市川寛也氏と福島県葛尾村のKatsurao Collectiveディレクター・森健太郎氏が互いの現場を視察して紹介しました。

また、陸前高田AIRプログラムディレクターの日沼禎子氏からも、

国際的なアーティスト・イン・レジデンスに取り組む視点で寄稿いただいています。

編集：甲斐賢治、田中千秋、丹治圭蔵、斎藤さくら（せんだいメディアテーク）

デザイン：佐藤豊

寄稿：市川寛也氏、森健太郎氏、日沼禎子氏

発行日：2024年2月27日

価格：無料



art node
MEETING
自由参加型公開会議

MEETING

参加アーティストの関心や取り組んでいる課題などを切り口としながら、その活動の理解を深めていくとともに、アートノードのプログラムの検証を参加者も交え探っていくための自由参加型公開会議。

アートノード・ミーティング 11**「8年目の健康診断 ～仙台の****アート、人・場・動きをふりかえる～」**

これまでアートノードで協働してきた方々、仙台の芸術文化関係者を対象に行った事前アンケートをもとに、その回答を整理、話し合うトピックスを選定し開催しました。

8年目を迎えたアートノードの事業検証の機会となりました。

会期：2023年6月10日

15:00-17:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：25名

入場料等：無料

出演：長内綾子、甲斐賢治



資源循環の杜へ せんだいリポート

家庭ごみの減量、資源循環に向けた行動する人づくりと、仙台市発の新たな取組創出のための機運醸成の取り組み。雑がみ、海洋プラスチック、古着、生ごみなどに関する市民団体のデモンストレーションや市内外の団体・企業・行政による資源循環に関する驚きの実践から学び合い、さまざまな分野の実践者が交流する機会となりました。

会期：2023年8月5日 11:00-16:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：653名

入場料等：無料

主催：仙台市環境局、せんだいメディアテーク

協力：東北大学大学院環境科学研究科、アメニティ せんだい推進協議会





+

—

+

1-3

館長発信事業

鷲田清一とともに考えるパート2

ドートクのじかん

道徳における徳目をテーマとして館長の鷲田清一が、各分野のプロフェッショナルからお話をうかがいながら、いま、メディアテークを通してみえる現代社会の状況や課題について考えを深めていくシリーズ。

[イベント]

4じかんめ 「寛大」

設定された徳目は「寛大」。多様な個人が相互にあるがままの資質の理解を深め、安心して生きていくことができる市民社会を願う、日本文化に造詣の深いロバート キャンベル氏をお招きし、対話を重ねました。

会期：2023年5月13日 14:00-16:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：294名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

助成：一般社団法人 地域創造



5じかんめ 「尊敬」

5じかんの徳目は「尊敬」。ゲストは精神科医で「ひきこもり」の治療や支援が専門の斎藤環氏。精神医療の現場で実践されているオープンダイアログという対話形式の治療方法について、斎藤氏から紹介していただき、他者への尊敬に基づいたコミュニケーションのありかたについて、参加者の皆さんとともに考えました。

会期：2023年12月23日 14:00-16:00

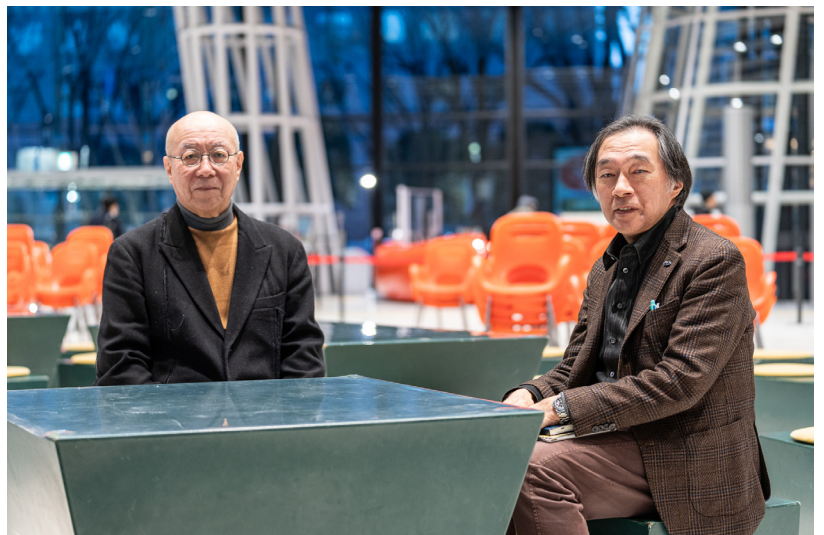
会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：300名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

助成：一般社団法人 地域創造



1-4

3がつ11にちをわすれないために センター特別講演

体験を言葉にすること

—『戦争語彙集』を読む

ウクライナで生きる人々の証言を集めて出版された『戦争語彙集』の編著者で詩人のオスタップ スリヴィンスキー氏と、同書を翻訳し、共著した日本文学研究者のロバート キャンベル氏、そして館長の鷲田清一が、本書をもとにして戦時下の人々の日常と言葉の変容、災厄の語り継ぎについて語り合いました。

会期：2024年1月21日 13:30-16:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：335名

入場料等：無料

バリアフリー対応：手話通訳、要約筆記

共催：独立行政法人国際交流基金、仙台市

協力：てつがくカフェ@せんだい、NHK仙台放送局、岩波書店



〔関連イベント〕

『戦争語彙集』読書会

『戦争語彙集』から各自、共感などを
もとに気になった言葉を取り上
げながら、戦時下における人々の
言葉について対話を深めました。

会期：2024年1月8日

13:00-16:00

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：17名

入場料等：無料

協力：岩波書店



第91回てつがくカフェ

テーマ：『戦争語彙集』から考える

書籍『戦争語彙集』から、3回のプロ
グラムをとおり、参加者のみなさん
と戦争における人々の言葉を読み
解きながら、考えを深めました。

会期：2024年2月25日

14:00-16:30

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：25名

入場料等：無料

協力：岩波書店



1-5

smtシネマ

7階スタジオシアターを拠点として、さまざまな映画・映像作品を上映するプロジェクト。シネマテーク(映画博物館)、映像アーカイブ、そして、映像表現の現在地を探る取り組みを行いました。

1-5-1

[イベント等]

映像の仙台史3

第二次世界大戦前後の仙台の様子を伝える2本の映画『観光の仙台』(1935年頃)、『(仮)戦後間もない秋保温泉ほか』(1953年)を、活動写真弁士による上演形式や、学芸員による解説とともに上映しました。また、一般の方から提供を受け当館でデジタルアーカイブ化している8ミリフィルムなどホームムービーに撮られた仙台も上映したほか、スタジオbにてその場で持ち込まれたフィルムを視聴する場を設けました。

会期:2023年7月1日-7月2日 14:00 / 15:30

会場:7f スタジオシアター

入場・参加者数:462名

入場料等:無料

バリアフリー対応:託児サービス(7月2日 14:00)



未来への映画便 in 仙台

『ベッピー』『ヘルマン・スロープ 目の見えない子ども 2』(監督:ヨハン・ファン・デル・コイケン / 1965年、1966年)、そして『音の行方』(監督:野田亮 / 2022年)を上映しました。また、映画の鑑賞教育に関するディスカッション「映像(を見る)教育の可能性」や体験ワークショップを行ったほか、障害の有無などにかかわらず一緒に映画鑑賞できる「リラックス上映」の回も設けました。

会期:2023年12月9日-12月10日 10:00 / 13:30

会場:7f スタジオシアター

入場・参加者数:165名

入場料等:無料

バリアフリー対応:託児サービス(12月9日-12月10日 両日13:30)、
リラックス上映(12月10日 13:30『音の行方』)

協力:認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭、
アンスティチュ・フランセ、
障害者芸術活動支援センター@宮城(SOUP/NPO法人エイブル・アート・
ジャパン)

助成:公益財団法人カメイ社会教育振興財団(仙台市)

[ディスカッション登壇者]

土田環氏(映画研究者 / 早稲田大学 / 山形国際ドキュメンタリー映画祭
「未来への映画便」コーディネーター)、

石川美穂氏(仙台市立台原中学校教諭)、小川直人

[ワークショップ(音で遊んでみる)ファシリテーター]

森本アリ氏(「音遊びの会」副代表)



一本の(映画／映像／動画…)から考える○○のこと

さまざまな分野の書き手が、主に映像音響ライブラリーやアーカイブのなかの映像資料から題材を取り上げ、自由に書くウェブ連載。

[執筆者]

鈴木史(映画監督、美術家、文筆家)、

高橋梨佳(NPO法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局スタッフ)、

堀口徹(建築批評家、近畿大学建築学部准教授、建築映画探偵)、

茂木謙之介(表象文化論、東北大学大学院文学研究科准教授)

[取り上げられた主な作品等]

『神の道化師、フランチェスコ』、『接吻』、『Metamorphoses』、『ザ・リング』、

『溺れるナイフ』、『路地へ 中上健次の残したフィルム』、『精神』、『精神0』

+

+

1-6

せんだいデザインリーグ 2024 卒業設計日本一決定戦

建築を学ぶ学生の卒業設計を全国から公募し、建築家などによる公開審査のもと卒業設計日本一を決めるイベント。2003年の第1回開催から今期で22回目を迎え、建築を志す学生、その集大成である卒業設計作品が大学の垣根を超えて一堂に会する熱気に満ちた舞台となりました。

会期：2024年3月3日-3月10日

会場：1f オープンスクエア、5f ギャラリー 3300、6f ギャラリー 4200、
オンライン

共催：仙台建築都市学生会議

[審査員]大西麻貴(審査員長)、畝森泰行、富永祥子、鳴川肇、馬場正尊

[入賞作]

日本一：藤澤 悠介(芝浦工業大学)『母、或イハ街』—守られながらも開かれた母子寮の提案—、

日本二：根城 颯介(京都大学)『明日の記念碑』、

日本三：山縣 真衣子(明治大学)『日常と記憶喪失』



[イベント]

作品展示

会期：2024年3月3日-3月10日
10:00-18:00
会場：5fギャラリー 3300、
6fギャラリー 4200
入場・参加者数：4,004名
入場料等：無料

公開審査

会期：2024年3月3日
14:00-19:00
会場：1f オープンスクエア
(YouTubeで配信)
入場・参加者数：370名
入場料等：無料

+

+

1-7

ショートピース! 仙台短篇映画祭 2023

2001年より続く、市民有志による実行委員会が企画する映画祭。今回は、『ある男』で日本アカデミー賞最優秀監督賞を受賞した石川慶監督や、『ケイコ目を澄ませて』で毎日映画コンクール・日本映画批評家大賞で監督賞を受賞した三宅唱監督が自作についてじっくりと語ったり、新進気鋭のアニメーションスタジオ・トンコハウスの制作現場の話、仙台ゆかりの音楽家・渡邊琢磨氏らによる映画と音楽のライブパフォーマンス、日本最初のユニバーサル映画館シネマチュプキ・タバタとのバリアフリー上映、毎年恒例となった若手作家による「新しい才能」や、地元の高校生たちの上映など、多彩なプログラムが繰り広げられました。

会期：2023年9月16日-9月18日

会場：7f スタジオシアター

入場・参加者数：554名

入場料等：1プログラム券1,000円、
65歳以上、高校生以下、障害者手帳等で800円

主催：仙台短篇映画祭実行委員会

共催：せんだいメディアテーク

バリアフリー対応：字幕・音声ガイドつき上映(バリアフリー上映 『こころの通訳者たち What a Wonderful World』)、
手話通訳・要約筆記(バリアフリー上映 『こころの通訳者たち What a Wonderful World』上映後トーク)

[プログラム]

バリアフリー上映 『こころの通訳者たち What a Wonderful World』

高校生の熱い作品をスクリーンで! R

石川慶と東北大学De・Palma

音楽家渡邊琢磨と映画1 染谷将太監督特集

音楽家渡邊琢磨と映画2 映画とライブ

トンコハウスの物語に触れる

新しい才能に出会う

演出とはなにか 三宅唱映画講座

[ゲスト]

平塚千穂子氏、石川慶氏、渡邊琢磨氏、牧野貴氏、石橋英子氏、山本達久氏、栗田唯氏、岩田隼之介氏、廣田康平氏、佐藤湧聖氏、目黒貴之氏、三宅唱氏



[関連イベント]

上映会制作ワークショップ

上映会の開くための基本(作品の選定や交渉、宣伝、当日の運営など)を、毎年恒例の『ショートピース! 仙台短篇映画祭』でのプログラム実現を目標として、実践的に学びました。

会期：2023年5月27日、6月3日、
8月5日、8月27日、
9月16日-9月18日
会場：7f スタジオb、
7f スタジオシアター
入場・参加者数：71名
入場料等：無料
共催：仙台短篇映画祭実行委員会



1-8

写真新世紀30周年記念展

－写真ができること、写真でできたこと

1991年の発足から、新人写真家の発掘・育成・支援を目的とした文化支援プロジェクトで、新人写真家の登竜門「写真新世紀」の30年を振り返る展覧会を開催しました。この展示は2022年10月にキャノンギャラリー S(品川)と東京都写真美術館(恵比寿)の2会場で開催し、1万2千人を動員したもので「写真新世紀」の30年にわたる集大成となる展覧会です。

今回は歴代受賞者の中から一般投票で選ばれた受賞作品とグランプリ受賞作品を展示しました。

会期：2023年8月5日(土)-8月22日(火) 10:00-19:00

会場：6f ギャラリー 4200 a

入場・参加者数：3,804名

入場料等：無料

主催：キャノン株式会社

共催：せんだいメディアアテーク



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 ライブラリー・サービス

6 本・DVD等の発行物

7 イベント一覧(時系列)

8 施設運営

+

+

2

2-1

メディア・スタディーズ



メディアを活用して地域の文化をつくる、個人・グループによるさまざまなプロジェクト。

※2-1-1～2-1-9のイベントについては、一般財団法人 地域創造の助成を受けて実施しました。

+

2-1-1



てつがくカフェ

活動主体：てつがくカフェ@せんだい

通常当たり前だと思っている事柄について「そもそもそれって何なのか」と問い直し、参加者同士で「対話」を重ねることで、考えることの難しさや楽しさを体験する企画「てつがくカフェ」を行っています。

+

[イベント]

第84回てつがくカフェ

テーマ：「結婚」とは何か？

ーシリーズ「結婚の定義」ー

テーマは「結婚」でした。参加者とともに「個人の結婚観」「認められていない結婚」そして「結婚とは何か」について対話をとおり、考えを深めました。

会期：2023年6月25日

14:00-16:30

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：38名

入場料等：無料



第85回てつがくカフェ

(オンライン)

テーマ：「会って話すことの意味」

テーマは「会って話すことの意味」。

コロナ禍によって私たちの生活はオンライン化やテレワークの整備によって大きな影響を受けました。その反動か、今日では対面で話すことに意義を見出す動きが強くなっているように思われます。この回のでつがくカフェでは、「会って話すことの意味」を多面的な視点から考えてみました。

会期：2023年7月16日

14:00-16:30

会場：オンライン(zoom)

入場・参加者数：18名

入場料等：無料

第86回でつがくカフェ

テーマ：「制度としての結婚？」

ーシリーズ「結婚の定義」第2回ー

テーマは「制度としての結婚？」でした。キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話をおして考えを深めました。

会期：2023年8月13日

14:00-16:30

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：27名

入場料等：無料



第87回でつがくカフェ

テーマ：「制度外の結婚？」

ーシリーズ「結婚の定義」第3回ー

テーマは「制度外の結婚？」でした。キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話によって

考えを深めました。

会期：2023年10月8日

14:00-16:30

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：14名

入場料等：無料



第88回でつがくカフェ

(オンライン)

テーマ：「ファンとアンチ」

テーマ「ファンとアンチ」について多面的な視点から考えてみました。

会期：2023年11月19日

10:00-12:30

会場：オンライン(zoom)

入場・参加者数：16名

入場料等：無料

第89回てつがくカフェ

テーマ：「恋愛と結婚」

ーシリーズ「結婚の定義」第4回ー

テーマは「恋愛と結婚」でした。テーマをきっかけに意見や考えを自由にだしてもらったあと、キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話によって考えを深めました。

会期：2023年12月24日

14:00-16:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：43名

入場料等：無料



『戦争語彙集』読書会(再掲)

『戦争語彙集』から各自、共感などをもとに気になった言葉を取り上げながら、戦時下における人々の言葉について対話を深めました。

第90回てつがくカフェ

テーマ：「結婚と子ども」

ーシリーズ「結婚の定義」最終回ー

テーマは「結婚と子ども」でした。テーマについての自由な考えを発言し合い、キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話を深めました。

会期：2024年2月11日

14:00-16:30

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：24名

入場料等：無料



第91回てつがくカフェ

テーマ：『戦争語彙集』から考える
(再掲)

書籍『戦争語彙集』から、3回のプログラムをとおり、参加者のみなさんと戦争における人々の言葉を読み解きながら、考えを深めました。

第92回てつがくカフェ

テーマ：「忘れ去られそうな“震災”
のことをひろいあげる」

テーマは「忘れ去られそうな“震災”のことをひろいあげる」でした。キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話によって考えを深めました。

会期：2024年3月9日

14:00-16:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：26名

入場料等：無料



2-1-2



ユースてつがくカフェ

活動主体：ユースてつがくカフェ

ユースてつがくカフェは、学校や教室といった枠にとらわれず、人間同士が語り合い、物事を深くから考えてみる場です。

対象：中学生・高校生・20代前後の方

[イベント]

ユースてつがくカフェ（仮）

第19回公開ミーティング

「勉強」をきっかけに、参加者が感じることや考えていることを自由に話し、参加者同士の対話をととして考えや意見が展開していきました。

会期：2023年7月30日

14:00-16:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：8名

入場料等：無料



ユースてつがくカフェ（仮）

第20回公開ミーティング

10代・20代の参加者といっしょに、前回提案されたテーマの一つ「いつ大人になれる?」をきっかけにして対話を深めました。

会期：2023年8月20日

14:00-16:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：7名

入場料等：無料



ユースてつがくカフェ

第21回公開ミーティング

「“多様性を認める”は可能か?」「優しいと正しいはどちらが大事?」などのテーマをきっかけに参加者同士で対話をととして互いの考えを深めました。

会期：2023年9月24日

14:00-16:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：6名

入場料等：無料



ユースてつがくカフェ

第22回公開ミーティング

「友だちとは?」などのテーマをきっかけに参加者同士で対話をととしてお互いの考えを深めました。

会期：2023年11月12日

14:00-16:00

会場：7f スタジオ b

入場・参加者数：5名

入場料等：無料



ユースてつがくカフェ

第23回公開ミーティング

「素の自分ってなんだろう」などのテーマをきっかけに、参加者同士で対話をととして、互いの考えを深めました。

会期：2023年12月17日

14:00-16:00

会場：7f スタジオ b

入場・参加者数：4名

入場料等：無料



ユースてつがくカフェ

第24回公開ミーティング

「労働」「未来志向」などの言葉をきっかけに、参加者同士で対話をととして互いの考えを深めました。

会期：2024年2月24日

14:00-16:00

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：6名

入場料等：無料



ユースてつがくカフェ

第25回公開ミーティング

「SNS」などの言葉をきっかけに参加者同士で対話をととしてお互いの考えを深めました。

会期：2024年3月30日

14:00-16:00

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：6名

入場料等：無料



2-1-3

細倉を記録した寺崎英子の写真アーカイブ

活動主体：寺崎英子写真集刊行委員会



1941年、旧満州に生まれた寺崎英子氏は、家族とともに宮城県鶯沢町細倉という鉱山町に移り住み、家業の売店を生業にしてきました。鉱山の閉山が発表されると寺崎氏はカメラを手にし、その後の細倉の行方を撮影しました。このプロジェクトでは、撮影された約1万1千カットのネガをアーカイブし、写真集刊行を目指して活動してきました。本年度は写真集の刊行にともない、寺崎英子の写真、俳句などの展示を行いました。

[イベント]

「細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム」展

2023年3月に出版された写真集『細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム』を中心に、寺崎英子写真モノクロ383枚・カラー181枚と、俳句、制作ノート、寺崎英子のポートレートなどを展示しました。

会期：2023年10月31日-2024年1月22日 9:00-22:00

会場：7f ラウンジ、スタジオa

入場・参加者数：37,627名

入場料等：無料



〔関連イベント〕

対談「寺崎英子とその時代―ドキュメンタリー写真の終わりと始まり―」

「細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム」展の関連イベントとして、自身も写真家でありながら寺崎英子写真集刊行委員会として活動してきた小岩勉氏、写真評論をはじめ幅広い分野で活動する石井仁志氏をお招きし、寺崎英子の写真について、またその時代のドキュメンタリー写真について話を伺いました。

会期：2023年12月16日 14:00-15:30

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：61名

入場料等：無料



2-1-4

どこコレ?
— おしえてください昭和のセンダイ —

どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—

活動主体：NPO法人20世紀アーカイブ仙台

市民の方々から写真提供を受け、保存活動を行っています。しかし、せっかくの貴重な写真も場所や年代がわからなければ資料として活かすことができません。不明な写真を展示公開し、市民からの情報により確定するイベント「どこコレ?」を開催しています。

[イベント]

第12回「どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—」

「どこコレ?」展の10年間を振り返り、これまでの確定の決め手を展示しました。また、仙台のどこか詳細がわからない古い写真を展示し、みなさんからの情報をもとに調べました。

会期：2023年4月29日-5月7日 10:00-18:00(前期)、

5月10日-6月25日 9:00-22:00(後期)

会場：1f オープンスクエア(4月29日-5月7日)、

7f スタジオa(5月10日-5月31日)、7f ラウンジ(6月1日-6月25日)

入場・参加者数：13,848名

入場料等：無料



考えるテーブル 公開サロン「どこコレ?」の決まり手!

20世紀アーカイブの佐藤正実氏とゲストの伊藤氏・熊谷氏・木村氏がこれまでの”確定写真”を「どこコレ?」を楽しむコツを交えながら紹介し、「どこコレ?」が始まってからの10年間を振り返りました。

会期：2023年4月30日 13:30-15:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：48名

入場料等：無料



2-1-5



民話 声の図書室

活動主体：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム

「みやぎ民話の会」が約45年にわたって記録してきた宮城県内を中心とする民話語りの映像・音声を、誰もが活かせる共有財産として後の世代に手渡していくため、民話語りのCD作成、語りの映像撮影とDVD作成、震災前に聞いた「浜の民話」の紹介、民話について自由に考え語り合う「民話ゆうわ座」の企画運営などを行っています。

[イベント]

耳をすまして声をうけつぐ

ー「民話 声の図書室」の11年

「民話 声の図書室」がこれまで制作してきた民話の語りの記録DVDやCD、これまでの「浜の民話」の展示、「民話ゆうわ座」の映像記録を紹介しました。

会期：2024年2月1日-2月29日

9:00-22:00

会場：7f ラウンジ

入場・参加者数：7,198名

入場料等：無料



入場料等：無料



考えるテーブル 小さなゆうわ座

ー声をきくみる はなすー

これまで「民話 声の図書室」が制作した語り手の記録から、升沢出身の曾根つき子氏のキツネのお話を鑑賞しました。お話そのものを楽しみながら、お話が生まれた背景や、自分の身の回りにもあるお話のタネについて、参加者のみなさんと対話しました。

会期：2024年2月23日

14:00-16:00

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：41名

入場料等：無料



考えるテーブル

丸森の民話を聞く 語る

現在では数少ない語り手の一人である鈴木悦郎氏をゲストに、丸森の里のくらしの中で生きてきた民話や、お話のタネについて伺いました。

会期：2024年2月12日

14:00-15:30

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：90名

みやぎシネマクラドル

活動主体：みやぎシネマクラドル

宮城県を主な拠点に、映像を通して作り手と市民が繋がり支え合うためのコミュニティ。作品を鑑賞しながら語り合う「映像サロン」等を開催しています。



[イベント]

第18回映像サロン

『『あいまいな喪失』ラフカット上映会～原発事故が頭わにした、ある家父長制家族の物語～』

山田徹氏の編集段階のドキュメンタリー映画『あいまいな喪失』ラフカットを鑑賞後、参加者同士で意見交換を行いました。

会期：2023年8月6日

13:30-17:00

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：18名

入場料等：無料

協力：i-くさのねプロジェクト



第19回映像サロン

『ひとの死を見つめる～『あなたのおみとり』上映会～』

村上浩康氏による編集段階のドキュメンタリー映画『あなたのおみとり』を鑑賞後、参加者同士で意見交換を行いました。

会期：2023年12月3日

13:30-17:00

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：25名

入場料等：無料

協力：i-くさのねプロジェクト



2-1-7



知る 続く 在来作物プロジェクト

活動主体：みやぎ在来作物研究会

在来作物とは、その土地で世代を超えて長年栽培され、人々に親しまれてきた野菜、果樹、穀類などの作物です。種を取る方法は、昔ながらの農法とともに代々受け継がれ「生きた文化財」とも言われます。地元にある在来作物を知り、守ってきた人たちを知り、これからも大切に残していきたいという活動です。

[イベント]

在来作物の民俗誌

－気仙沼の大島カブを事例として－

宮城県気仙沼大島出身の小野寺佑紀氏をお迎えし、今年発行のみやぎ在来作物だより3号でも特集した、気仙沼大島の「大島カブ」についてお話を伺いました。

会期：2024年2月3日

13:30-15:00

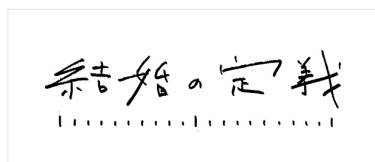
会場：7f スタジオa

入場・参加者数：33名

入場料等：無料



2-1-8



結婚の定義

活動主体：♀×♀お茶っこ飲み会・仙台

「同性婚」「夫婦別姓」「婚活」「生涯未婚」…現代日本社会は「結婚」に関するキーワードであふれています。しかしその一方で「そもそも『結婚』って何?」という根本のところは置き去りにされがちです。法制度・文化・習俗など、さまざまな側面がある「結婚」。友人や恋人やきょうだいや、他のいろいろな関係と区別するズバリな「結婚の定義」はあるのか?それともそんなものはないのか?多面的な視点から考察していきます。

[イベント]

第84回でつがくカフェ

テーマ：「結婚」とは何か？

ーシリーズ「結婚の定義」ー(再掲)

テーマは「結婚」でした。参加者とともに「個人の結婚観」「認められていない結婚」そして「結婚とは何か」について対話をとおり、考えを深めました。

第86回でつがくカフェ

テーマ：「制度としての結婚？」

ーシリーズ「結婚の定義」第2回ー(再掲)

テーマは「制度としての結婚？」でした。キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話をとおりして考えを深めました。

第87回でつがくカフェ

テーマ：「制度外の結婚？」

ーシリーズ「結婚の定義」第3回ー(再掲)

テーマは「制度外の結婚？」でした。キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話によって考えを深めました。

第89回でつがくカフェ

テーマ：「恋愛と結婚」

ーシリーズ「結婚の定義」第4回ー(再掲)

テーマは「恋愛と結婚」でした。テーマをきっかけに意見や考えを自由にだしてもらったあと、キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話によって考えを深めました。

第90回でつがくカフェ

テーマ：「結婚と子ども」

ーシリーズ「結婚の定義」最終回ー(再掲)

テーマは「結婚と子ども」でした。テーマについての自由な考えを発言し合い、キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話を深めました。

2-1-9



[イベント]

活版印刷工房

活動主体：活版印刷研究会

活版印刷の文化を保存し伝えるプロジェクト。毎月1回、メディアテークの活版印刷機や活字を用いた制作・周辺設備の保守活動をしています。活字や道具のメンテナンスの技術を職人さんから学び、継承することで活版文化を後世に残すとともに、日々の活動や展示、一般のかた向けのワークショップの開催などを通して、会の後継者の育成に取り組んでいます。

活版印刷ワークショップ

会期：2023年10月15日

活版印刷研究会と協働し、当館で所蔵する活版印刷の活字や道具、手フート印刷機を使ったワークショップを行いました。

会場：B1f 準備室

入場・参加者数：79名

入場料等：無料

2-1-10

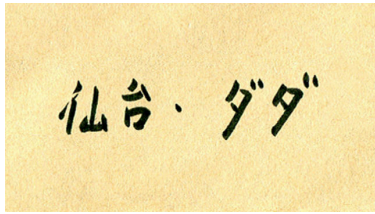


いきもの記録係

活動主体：いきもの記録係

いまを生きる命を、大切に記録する係／活動です。現在は貴重になっている日本の蚕と飼育している養蚕農家や、八木山動物公園に暮らすゴリラをはじめ、多種多様な生きる命を記録します。

2-1-11



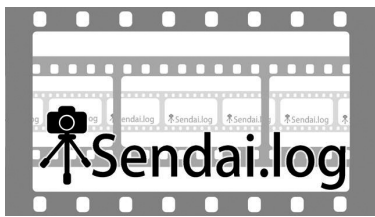
仙台前衛藝術の足跡を辿る

活動主体：仙台ダダ外部調査委員会

戦後まもなく、行為による表現活動を始めた糸井貫二氏を中心に、1960年代70年代から活動する仙台の美術家や関係者への聞き取りおよび映像メディアによる記録、資料調査を行い、いまだ知られざる仙台前衛藝術の動向と同時代の状況を考察するとともに、後世に残すためのドキュメントを作成します。

+

2-1-12



Sendai.log

活動主体：Sendai.log

仙台の町の変化を捉え、記録していくプロジェクトです。振り返るといつのまにか変わっている「今の町の姿」を記録し、アーカイブログを作成しています。

+

2-1-13

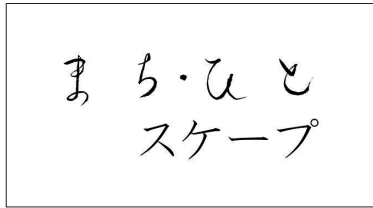


プロジェクト・せんだい

活動主体：プロジェクト・せんだい

仙台で70年にもわたり、映写技師として活躍している浅井浩雄氏のドキュメンタリーを制作するプロジェクト。今ではなかなか見ることができない映写や、浅井氏から語られる仙台や映画文化の記録を行います。

2-1-14



まち・ひとスケープ

活動主体：まち・ひとスケープ

残したい・伝えたいさまざまな事柄を、動画やブログなどのメディアを通して発信。楽しみながら、学びあい・スキルを高めあう活動です。

2-1-15

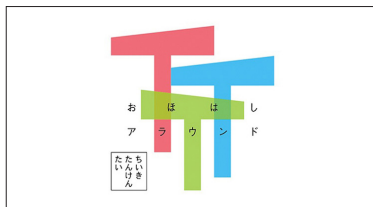


失われた村の風景を記憶しなおす

活動主体：「失われた村の風景を記憶しなおす」プロジェクト

2000年、日米軍事演習を契機に集団移転がなされた黒川郡大和町升沢地区。升沢の記録保存調査に参加していた手代木信成氏が撮影していた移転前後の村の人々や自然の風景の写真約3000枚をデジタル化し、各写真を軸に、撮影内容・背景・周辺エピソードなど、撮影者や関係者からの情報を立体的にまとめるプロジェクトです。

2-1-16



おほはしア라운드

活動主体：地域探検隊-TTT-

広瀬川大橋周辺をフィールドに、地域のエリアを広げる探検から、心の中にある地域を浮かび上がらせる探検、そして文化の壁・地域の内と外を乗り越える探検を行い、ガイドツアーやアートなどに活用するためのアーカイブ活動です。多層に積み重ねられた歴史と地域の生活文化を尊重するまちづくりとして取り組んでいます。

2-1-17



たてももの観察同好会

活動主体：SASSA (Sendai Architecture, Statue & Stone Association)

昭和を中心に建てられた、数多の建築。名建築家の建てた「名建築」以外のそれら「たてももの」を実際に訪れ、改めて観察することによって、その魅力を再発見していこうとするプロジェクト。

2-2

バリアフリー・デザイン

目や耳の不自由な人々の主体的な情報アクセスを促進するための事業や、障害の有無にかかわらず参加できる事業。

2-2-1

手ではなすおはなしの会

ボランティアグループ「まほうの手」による手話のおはなし会を実施しました。

会期：2023年9月30日、2024年1月27日

会場：7f スタジオa(9月30日、1月27日)、1f オープンスクエア(1月27日)

入場・参加者数：276名

入場料等：無料

共催：仙台市民図書館



2-2-2

手ではなすおはなしの会@にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば

仙台市民図書館が主催するイベント「にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば」に、「まほうの手」が参加しました。

会期：2023年7月8日

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：14名

入場料等：無料

共催：仙台市民図書館



2-2-3

手話による読み聞かせボランティア養成講座2023

読みきかせグループ「まほうの手」として活動する新しいメンバーを募集し、手話による読み聞かせの技術を学びました。

会期：2023年8月19日、8月20日、9月2日 各日13:00-16:00

会場：7f スタジオa

入場・参加者数：27名

入場料等：無料



2-2-4

手話読み聞かせステップアップ講座

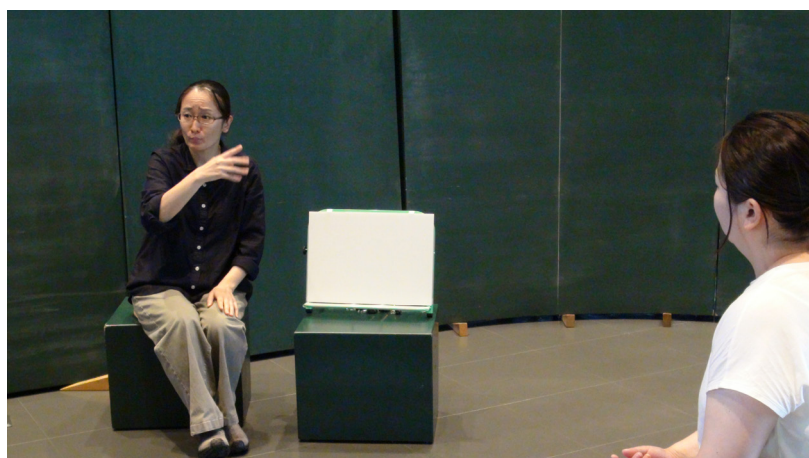
読み聞かせグループ「まほうの手」で活動するメンバーに向けて、手話による読み聞かせ技術の向上のための講座を開催しました。

会期：2023年9月16日 14:00-17:00

会場：7fスタジオa

入場・参加者数：10名

入場料等：無料



2-2-5

スウプノアカデミア 2023

「ともに学びともに育つ! せんだい・まなびやネットワーク構築モデル事業」の一貫として、障害者の芸術活動支援センター@宮城(愛称: SOUP)が実施するプロジェクト「スウプノアカデミア」。障害のある人の「まなび」の場を考えるワークショップや講座などのプログラムを実施しました。

会期: 通年

入場料等: 無料

主催: 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン

共催: 仙台市教育委員会、せんだいメディアテーク



2-2-6

「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」東北ブロック

障害のある人と芸術文化活動を行う団体や活動の紹介、展示等を行う「きいて、みて、しって、見本市。」の中で、障害当事者による活動と運動のこれまでの振り返りながら、「障害のある人もない人も共に学ぶ場」づくりについて語り合いました。

会期：2024年1月27日 10:00-16:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：267名

入場料等：無料

主催：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン、文部科学省

共催：仙台市教育委員会、せんだいメディアテーク



2-2-7

としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示

紙に印刷された文字を読むだけではない、さまざまな読書の楽しみ方を紹介しました。

会期：2024年1月27日 -1月31日

1月27日 -28日 9:30-18:00 / 1月30日 -31日 9:30-20:00

※1月29日は2f休館日

会場：2f バリアフリーカウンター

入場料等：無料

共催：仙台市民図書館

+

+

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

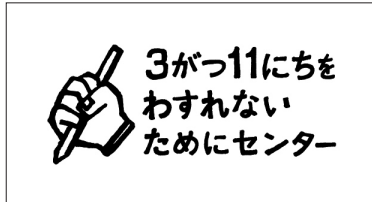
—

+

3

3-1

3がつ11にちをわすれないために センター



2011年度から継続して、市民、専門家らとの協働により、東日本大震災に関する写真・映像・音声・文章を、記録・発信し、利活用する事業。略称「わすれん!」。年間を通して、それぞれの参加者が記録活動および配信イベント等を行いました。それらの記録をもとにスタッフがDVD制作、ウェブサイトでの記録公開、「星空と路」での記録展示を実施しました。

星空と路-3がつ11にちをわすれないために-

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」参加者の活動を紹介する展示、イベントを実施。参加者の活動から震災を振り返りました。

会期：2024年3月7日-3月11日 10:00-18:00(前期)

3月13日-4月21日 9:00-22:00(後期)

会場：1f オープンスクエア(前期)、7f ラウンジ(後期)

入場・参加者数：9,518名(2024年度会期末時点)

入場料等：無料



[イベント]

ギャラリートーク

「それぞれの記録のかたち」

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」参加者である高橋親夫氏、橋本武美氏、佐野友紀氏の3名をゲストに迎え、展示解説を交えつつ、それぞれの記録との向き合い方についてお話を伺いました。

会期：2024年3月10日

11:00-12:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：50名

入場料等：無料



第92回てつがくカフェ

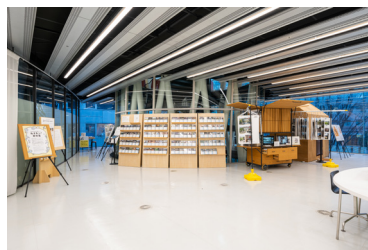
テーマ：「忘れ去られそうな“震災”のことをひろいあげる」(再掲)

テーマは「忘れ去られそうな“震災”のことをひろいあげる」でした。キーワードを出すステップを踏みながら、参加者とともに対話によって考えを深めました。

3-1-2

常設展示「わすれん!資料室」

メディアテーク2階の映像音響ライブラリー内において、わすれん!に寄せられたさまざまな記録資料を手に取れる形で公開しました。本年度は、震災直後からこれまで継続的に撮影されてきた定点観測写真をパネルにして地域ごとに月替わりで展示を更新する「地域特集ミニ展示」を実施しました。



[展示物]

来場者が綴るひとりひとりの震災体験談「インタビューシート」

さまざまな問いから出来事を振り返る「インタビューシート」を「わすれん!資料室」内に設置しました。来館した方々が書き残した体験談は1年間で250あまりになり、ウェブサイトでも公開しています。

日時：通年

会場：メディアテーク2f「わすれん!資料室」内

+

3-1-3

3がつ11にちをわすれないためにセンター特別講演

体験を言葉にすることー『戦争語彙集』を読む(再掲)

ウクライナで生きる人々の証言を集めて出版された『戦争語彙集』の編著者で詩人のオスタップ スリヴィンスキー氏と、同書を翻訳し、共著した日本文学研究者のロバート キャンベル氏、そして館長の鷲田清一が、本書をもとにして戦時下の人々の日常と言葉の変容、災厄の語り継ぎについて語り合いました。

+

3-1-4

外部機関への主な協力出展等

地域防災訓練での資料活用

仙台市立秋保小学校で「3月12日はじまりのごはん」の写真パネルを用いた防災学習を実施しました。震災の記憶がない、あるいは震災後に生まれた中学生たちが、地域の大人たちとともに震災時の食の写真を見ながら対話を行い、震災体験を伝承する機会となりました。

日時：2023年6月25日

会場：仙台市立秋保中学校

高校の授業での資料活用、学習成果のアーカイブ

自由の森学園高校(埼玉県)の授業「東北と復興」において、受講生約20名がスタディツアーでわすれん!の見学に訪れました。加えて授業での映像活用や、学習成果のアーカイブ展示を実施しました。

日時:2023年7月23日(スタディツアー)

会場:せんだいメディアテーク

大学生による対話ワークショップの実施

お茶の水女子大学(東京都)「民族誌学特殊講義」において、市民協働による震災アーカイブの実践についてのオンライン講義を行いました。また、わすれん!の映像を学生30名が視聴して対話ワークショップを実施しました。

日時:2023年11月29日(オンライン講義)、12月6日(対話ワークショップ)

会場:お茶の水女子大学(東京都文京区)

企画展「わたしたちの3.11」の共催

せんだい3.11メモリアル交流館とわすれん!にそれぞれ寄せられてきた、さまざまな震災体験談を展示する企画展「わたしたちの3.11」(主催:せんだい3.11メモリアル交流館)にて、「アーカイブィークル」「3月12日はじまりのごはん」「わすれん! DVD」「インタビューシート」等を展示しました。

会期:2023年7月30日-9月30日

会場:せんだい3.11メモリアル交流館

「仙台防災未来フォーラム2024」ブース出展

「仙台防災未来フォーラム2024」(主催:仙台市)にて、「インタビューシート」と関連資料の展示、およびリーフレットの配布等を行いました。

日時:2024年3月9日

会場:仙台国際センター展示棟

3-2

コミュニティ・アーカイブ・ ラボラトリー



地域や関心・属性などさまざまなコミュニティについて、そこに関わる人々が中心となり記録・収集する取り組みを「コミュニティ・アーカイブ」と呼び、その意味や可能性について探る仮想の研究室。

2021年度に続き、日本各地のコミュニティ・アーカイブにまつわる取り組みを現地取材したレポートを公開したほか、2017年に実施した「草アーカイブ会議2」の映像や、アーカイブにまつわる様々な書評などをウェブサイトで公開しました。

取材先：神戸映画資料館（兵庫県神戸市）、みずしま財団（岡山県倉敷市）、平和文化月間（広島県広島市）など



報告	報告	コラム
読んでみた：みずしま財団／岡山県倉敷市	参加してみた：広島県の平和文化月間に開催された「ピースパズル」	リサーチレポート：神戸映画資料館
2023年11月21日～23日の3日間、コミュニティ・アーカイブ・ラボラトリーチームで、岡山・広島県の調査に行きました。岡山県倉...	2023年11月21日～23日、コミュニティ・アーカイブ・ラボラトリーのメンバーで、岡山と広島にリサーチに行きました。広島...	2022年11月につづき、2023年7月16日、日本映像学会 映像アーカイブ研究会の方々と一緒に兵庫県神戸市の「神戸映画資料館」にて、館長...
詳細を見る	詳細を見る	詳細を見る

3-3

地域資料の収集

仙台にまつわる映像や写真などの収集・整理とデジタル化を進め、主催事業やサービスを通じて広く一般に公開しました。

3-3-1

資料の収集・整理

個人・団体等からの提供、当館で調査した映画フィルムや写真のデジタル化を進めました。また、過去に仙台市が企画・制作した映画等のデジタルデータの収蔵を行いました。

(収集・整理した主な資料)

- ・1960～1990年代に仙台市広報課が撮影した写真
- ・映画「仙台市地下鉄―南北線建設の記録―」
- ・市民から提供された8ミリフィルム等



資料の活用

特集上映『映像の仙台史3』(前掲)の実施や、各種サービスを通じての資料提供、教育・報道利用等のためのレファレンスに対応し、デジタル化した資料の活用促進に努めました。また、生涯学習機関での事業に使われました。

[活用例]

「太中ふれあいサロン 第4回」
での映像資料の上映

太白区中央市民センターが主催する講座で、「観光の仙台」「(仮)戦後間もない秋保温泉ほか」が上映されました。

会期：2023年12月13日

会場：太白区中央市民センター

「仙台自分づくり教育 中学校における職場体験活動」でのプログラム

中学生の体験プログラムとして、アーカイブ資料のなかから生徒の学区内の写真を調査・選定する仕事を行い、その成果をウェブサイト公開しました。

「仙台明治青年大学 修了・閉校式」
での記念講演

仙台明治青年大学の修了・閉校式で、地域映像資料の紹介と講演を行いました。

会期：2024年3月27日

会場：太白区文化センター楽楽ホール

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

+

4

4-1

仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA)

仙台・宮城地域の多様なミュージアムが連携する組織「仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)」。

当館を会場にSMMA参加館が集合し、各館の特色を生かした企画でミュージアムの楽しさを伝えるイベント「ミュージアムユニバース」や、2019年度以来となるツアーを開催しました。

[イベント]

ミュージアムユニバース せんだいひとむかし

仙台のミュージアムが一堂に集う「SMMAミュージアムユニバース」では、「せんだいひとむかし」と題し、地域の記憶を辿ることができる写真やモノを集めて展示しました。そのほかにも各館の学芸員や専門員によるトークイベントや、小さなお子さんでも参加できる各種のワークショップを開催し、仙台・宮城のミュージアムが持つ魅力を発信しました。

会期：2023年12月14日-12月17日 10:00-18:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：4,060名

入場料等：無料

主催：仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)



キャンパスガイドツアー 東北大学・東北学院大学キャンパスガイドツアー

片平・土樋を歩く

会期：2024年3月2日 13:00-16:00

会場：東北大学、東北学院大学

入場・参加者数：34名

入場料等：無料

主催：仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)



4-2

定禅寺通イベント共催事業等

定禅寺通に面した施設として、ストリートと一体化したスペースにもなる1階オープンスクエアを活用し、屋外で行われるさまざまなイベントと連携する事業。

4-2-1

とっておきの音楽祭 2023(せんだいメディアテーク会場)

6月に定禅寺通を中心に開催されるお祭り「とっておきの音楽祭」。障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指します。合言葉は「みんなちがって みんないい」。

主催：NPO 法人とっておきの音楽祭 とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI

共催：せんだいメディアテーク

[イベント]

とっておきの音楽祭 2023

スペシャルライブ

6月に定禅寺通を中心に開催されるお祭り「とっておきの音楽祭」。音楽祭のプレ企画としてスペシャルライブと参加者ミーティングを開催しました。

会期：2023年4月16日

13:00-14:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：312名

入場料等：無料

とっておきの音楽祭 2023

(せんだいメディアテーク会場)

「みんなちがって、みんないい」を合言葉に、障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、「心のバリアフリー」を目指す音楽祭をおこないました。

会期：2023年6月4日

10:00-17:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：665名

入場料等：無料



4-2-2

仙台・青葉まつり「おまつり広場」(せんだいメディアテーク会場)

「仙台・青葉まつり」の歴史紹介する展示や講座を行い、市民広場会場の様子を映像配信でお届けしました。

会期：2023年5月20日-5月21日

宵まつり(5月20日) 13:00-22:00 / 本まつり(5月21日) 10:00-17:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：2,677名

入場料等：無料

主催：仙台・青葉まつり協賛会

共催：せんだいメディアテーク



定禅寺ストリートジャズフェスティバル(せんだいメディアテーク会場)

「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」は市民手作りの音楽祭。のべ2日間のフェスティバルは70万人を超える観客を動員する、日本屈指の音楽フェスティバルです。

主催：公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会

共催：宮城県、仙台市、せんだいメディアテーク

[イベント]

**定禅寺ストリートジャズ
フェスティバル in SENDAI
“響演”フリーライブ定禅寺
「スペシャル」**

9月9日、10日に開催される第32回定禅寺ストリートジャズフェスティバルにむけてフリーライブを開催しました。

会期：2023年7月16日

13:00-17:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：544名

入場料等：無料



**定禅寺ストリートジャズ
フェスティバル
(せんだいメディアテーク会場)**

9月9日・10日で18グループが演奏しました。

会期：2023年9月9日-9月10日

11:00-17:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：6,525名

入場料等：無料



4-3

学校との取り組み

仙台市教育センター「中学校美術科 ICT教材の試行活用について」において、映像を使った表現に関する授業研究に参画しました(中野中学校 第1学年「オリジナルアニメーションを作ろう」、幸町中学校 第2学年「紙に命を吹き込んで」、富沢中学校 第3学年「動きを生かす」)。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため受け入れを中止していた博物館実習について、2019年度以来4年ぶりに受け入れを再開しました。

学校見学：52校

博物館実習：3校

4-4

仙台市民図書館との取り組み

仙台市民図書館と連携して行うさまざまな取り組み。

[イベント]

としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示(再掲)

メディアテークと仙台市民図書館が持っているバリアフリー資料の紹介を行いました。

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

—

+

5

5-1

映像音響ライブラリー

資料点数 16,183 点
貸出点数 54,157 点
新規登録者数 618 名

+

5-2

視聴覚障害者情報ライブラリー
(バリアフリー・ライブラリー)

資料点数 5,807 点
貸出点数 2,391 件
対面朗読件数 151 件
音訳・点訳件数 8 件
音声読み上げパソコン利用件数 2 件
音訳制作件数 17 タイトル
(DAISY 資料 10 タイトル、メディアテーク資料[情報誌等]7 タイトル)
点訳制作件数 24 タイトル
(視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」登録 18 タイトル、
メディアテーク資料[情報誌等]6 タイトル)

+

5-3

インターネットを通じた資料提供

2020年度から開設しているYouTubeチャンネル「せんだいメディアテーク・オンライン」にて、事業の記録などを公開したほか、当館ウェブサイト上で画像資料を閲覧できるページを新たにし、収集した写真を公開しました。

せんだいメディアテーク・オンライン

<https://www.youtube.com/@user-yg1jg7xk5t/>

せんだいメディアテーク公式ウェブサイト内「アーカイブ>>画像」

<https://www.smt.jp/archive/photo/>



1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

—

+

6

6-1

書籍や報告書等の印刷物

『飯川雄大 デコレータークラブ』(書籍)

『アートノード・ジャーナル 11号』(タブロイド紙)

+

6-2

DVDメディア等の映像音響資料

主催・共催事業の記録映像、スタジオを拠点とした市民グループ等との協働による映像、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」や「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の活動を通じて制作された映像などをDVD・CDパッケージにし、「smtコレクション」として発行。映像音響ライブラリーで公開したほか、ライブラリー利用登録者にとどまらず、内外の報道、研究、上映会等のために貸し出しました。

+

主催・共催事業の記録

[DVD] 鷺田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 4じかんめ「寛大」

[DVD] 鷺田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 5じかんめ「尊敬」

[DVD] 体験を言葉にすることー『戦争語彙集』を読む

[DVD] 自治とバケツと、さいかちの実ーエピソードでたぐる追廻住宅ー

[DVD] 細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム展 対談「寺崎英子とその時代ードキュメンタリー写真の終わりと始まりー」

[DVD] 民話 声の図書室 民話ゆうわ座9 伝承のみちすじをたどるー永浦誠喜さん、伊藤正子さんの語りからー

[DVD] 民話 声の図書室 考えるテーブル「丸森の民話を聞く 語る」

地域文化デジタイズ事業制作物

[DVD] 民話 声の図書室 伊具郡丸森町の鈴木悦郎の語り[3]

[DVD]民話 声の図書室 伊具郡丸森町の鈴木悦郎の語り[4]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[1]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[2]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[3]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[4]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[5]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[6]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[7]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[8]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[9]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[10]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[11]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[12]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[13]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[14]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[15]

[DVD]観光の仙台

[DVD](仮)戦後間もない秋保温泉

[DVD]1978年宮城県沖地震の記録

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[16]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[17]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[18]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[19]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[20]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[21]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[22]

[CD]民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り[23]

3がつ11にちをわすれないためにセンター制作物

[DVD]鈍行旅日記

[DVD]車載映像比較 仙台市街地ー仙台港周辺 2011年／2023年

[DVD]参佰拾壹歩の道奥経 只管打海

[DVD]鼎談映像「ダイブわすれん!」に参加して

[DVD]小国春熊獵2023

せんだい・アート・ノード・プロジェクトの記録

[DVD]ARCADE NISHINARI YOSHIO 写真展 最後のファッション トークイベント「いのちの世話と最後の3着」

[DVD]資源循環の杜へ せんだいリポート

[DVD]ワケあり雑がみ部 ワケあり雑がみ部的 大人の分別

[DVD]MEETING アートノード・ミーティング10×貞山運河フォーラム2023

想像する運河3～貞山運河小屋めぐりから考える未来～

[DVD]MEETING アートノード・ミーティング11 8年目の健康診断～仙台

のアート、人・場・動きをふりかえる～

+

—

+

6-3

紙やインターネットを通じた
定期発行等

「催し案内」(印刷物／毎月／PDF版をウェブサイトで公開)
「せんだいメディアテーク 事業のご案内」(印刷物／毎年)
「けやき通り通信」(印刷物／隔月)
「せんだいメディアテーク・メールニュース」(メール配信／毎月／
登録者2,423名)
「せんだいメディアテーク・オンライン」(映像／毎月／ウェブサイトに公開)
ウェブサイト(アクセス総数968,972件)

+

6-4

その他常備している印刷物

総合案内(日本語版／英語版／フランス語版／中国語版／韓国語版)
総合案内(目や耳の不自由なかたへ)
総合案内(車椅子アクセス)
貸出施設利用案内
せんだいメディアテーク建築ガイド(日本語版／英語版)
3がつ11にちをわすれないためにセンターってなに？(日本語版／英語版)

+

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

—

+

2023年度イベント一覧(時系列)

※開始日のみ掲載

4/1	展覧会	[アート・ノード]川俣正／仙台インプログレス 報告展
4/16	上演	とっておきの音楽祭 2023 スペシャルライブ
4/29	展覧会	どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—
4/30	ワークショップ	考えるテーブル 公開サロン「どこコレ?」の決まり手!
5/13	トーク	驚田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 4じかんめ「寛大」
5/20	展覧会、その他	第39回仙台・青葉まつり「おまつり広場」(せんだいメディアテーク会場)
5/27	ワークショップ	上映会制作ワークショップ
6/4	上演	とっておきの音楽祭 2023(せんだいメディアテーク会場)
6/9	ワークショップ	[アート・ノード]ワケあり雑がみ部
6/10	トーク	[アート・ノード]アートノード・ミーティング11 8年目の健康診断 ～仙台のアート、人・場・動きをふりかえる～
6/25	ワークショップ	第84回考えるテーブル てつがくカフェ「結婚」とは何か?—シリーズ「結婚の定義」—
7/1	上映、トーク	映像の仙台史 3
7/8	ワークショップ	手ではなすおはなしの会@にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば
7/11	展覧会	[アート・ノード]展示で雑がみ部 Vol.4 Jun
7/16	ワークショップ	第85回てつがくカフェ (オンライン)「会って話すことの意味」
7/16	上演	定禅寺ストリートジャズフェスティバル in SENDAI “響演”フリーライブ定禅寺「スペシャル」
7/30	ワークショップ	ユースてつがくカフェ (仮) 第19回公開ミーティング
8/4	ワークショップ	[アート・ノード]ワケあり雑がみ部的 大人の分別
8/5	ワークショップ	[アート・ノード]資源循環の杜へ せんだいリポート
8/5	展覧会、トーク	写真新世紀30周年記念展—写真ができること、写真でできたこと

8/6	上映、トーク	みやぎシネマクラドル「第18回映像サロン 『あいまいな喪失』ラフカット上映会 ～原発事故が顕わにした、ある家父長制家族の物語～」
8/7	ワークショップ	[アート・ノード]川俣正／仙台インプログレス 井土浜パーゴラ・テーブル・ベンチの制作、 ベンチ制作ワークショップ
8/13	ワークショップ	第86回考えるテーブル てつがくカフェ「制度としての結婚？」—シリーズ「結婚の定義」—
8/19	ワークショップ	手話による読み聞かせボランティア養成講座2023
8/20	ワークショップ	ユースてつがくカフェ（仮） 第20回公開ミーティング
9/7	その他	一本の（映画／映像／動画…）から考える○○のこと
9/9	上演	定禅寺ストリートジャズフェスティバル（せんだいメディアテーク会場）
9/16	ワークショップ	手話読み聞かせステップアップ講座
9/16	上映	ショートピース!仙台短篇映画祭2023
9/24	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第21回公開ミーティング
9/30	ワークショップ	手ではなすおはなしの会
10/8	ワークショップ	第87回考えるテーブル てつがくカフェ「制度外の結婚？」—シリーズ「結婚の定義」—
10/15	ワークショップ	活版印刷ワークショップ
10/31	展覧会	「細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム」展
11/1	展覧会	[アート・ノード]展示で雑がみ部 Vol.5 mari
11/3	展覧会	自治とバケツと、さいかちの実—エピソードでたぐる追廻住宅—
11/5	展覧会、トーク	ギャラリートーク①「自治とバケツと、さいかちの実—エピソードでたぐる追廻住宅—」
11/12	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第22回公開ミーティング
11/19	ワークショップ	第88回てつがくカフェ（オンライン）「ファンとアンチ」
12/2	展覧会、トーク	ギャラリートーク②「自治とバケツと、さいかちの実—エピソードでたぐる追廻住宅—」
12/3	上映、トーク	みやぎシネマクラドル「第19回映像サロン ひとの死を見つめる～『あなたのおみとり』上映会～」

12/9	上映、ワークショップ	未来への映画便 in 仙台
12/14	展覧会、ワークショップ	ミュージアムユニバース せんだいひとむかし
12/16	展覧会、トーク	対談「寺崎英子とその時代―ドキュメンタリー写真の終わり始まり―」
12/17	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第23回公開ミーティング
12/23	トーク	鷺田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 5じかんめ「尊敬」
12/24	ワークショップ	第89回考えるテーブル てつがくカフェ「恋愛と結婚」―シリーズ「結婚の定義」―
1/8	ワークショップ	『戦争語彙集』読書会
1/21	トーク	[わすれん!]3がつ11にちをわすれないためにセンター特別講演 体験を言葉にすること―『戦争語彙集』を読む
1/27	展覧会、ワークショップ	第6回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、して、見本市。」
1/27	ワークショップ、トーク	「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」東北ブロック
1/27	ワークショップ	手ではなすおはなしの会
2/1	展覧会	耳をすまして声をうけつぐー「民話 声の図書室」の11年
2/2	ワークショップ	[アート・ノード]○△□(まる さんかく しかく)の表現論
2/3	ワークショップ	[アート・ノード]お会計先送りワークショップ
2/3	トーク	在来作物の民俗誌―気仙沼の大島カブを事例として―
2/11	ワークショップ	第90回考えるテーブル てつがくカフェ「結婚と子ども」―シリーズ「結婚の定義」―
2/12	ワークショップ	考えるテーブル 丸森の民話を聞く 語る
2/22	展覧会	[アート・ノード]展示で雑がみ部 Vol.6 おりがみくん
2/23	ワークショップ	考えるテーブル 小さなゆうわ座―声をさくみる はなす―
2/24	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第24回公開ミーティング
2/24	ワークショップ	[アート・ノード]そんたくズ「メタバース牛さらい」

2/25	ワークショップ	第91回てつがくカフェ 『戦争語彙集』から考える
3/1	展覧会	[アート・ノード]川俣正／仙台インプログレス 報告展
3/3	その他	せんだいデザインリーグ2024 卒業設計日本一決定戦 公開審査
3/3	展覧会	せんだいデザインリーグ2024 卒業設計日本一決定戦 作品展示
3/7	展覧会	[わすれん!]星空と路 —3がつ11にちをわすれないために—
3/9	ワークショップ	第92回考えるテーブル てつがくカフェ 「忘れ去られそうな“震災”のことをひろいあげる」
3/10	トーク	[わすれん!]星空と路 ギャラリートーク「それぞれの記録のかたち」
3/30	ワークショップ	ユースてつがくカフェ 第25回公開ミーティング

+

+

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	ライブラリー・サービス
6	本・DVD等の発行物
7	イベント一覧(時系列)
8	施設運営

+

+

8

8-1 施設概要

所在地：仙台市青葉区春日町2番1号

敷地面積：3,949㎡

構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造地下2階地上7階建

延床面積：21,682㎡

総工費：約130億円

設計：株式会社伊東豊雄建築設計事務所

・開館時間

せんだいメディアテーク：9時から22時まで(階により異なる)

仙台市民図書館・映像音響ライブラリー：9時30分から20時まで
(土曜・日曜・休日は18時まで)

・休館日

せんだいメディアテーク：保守点検日(1月から11月までの第4木曜日)、年末年始(12月29日から1月3日)

仙台市民図書館・映像音響ライブラリー：月曜(休日を除く)、休日の翌日、保守点検日(1月から11月までの第4木曜日、ただし休日に当たるときは開館しその翌日が休館)、年末年始(12月28日から1月4日)、特別整理期間

・お問い合わせ

Tel: 022-713-3171 Fax: 022-713-4482

Web: www.smt.jp/

E-mail: office@smt.city.sendai.jp

企画・活動支援室 Tel: 022-713-4483

映像音響ライブラリー Tel: 022-713-4486

バリアフリー Tel: 022-713-4484

・主な施設内容

地下2階 書庫、収蔵庫、機械室

地下1階 駐車場、書庫

1階プラザ(定禅寺通に開かれた屋内型公開空地、オープンスクエア、カフェ、ショップ)

2階ライブラリー(映像音響資料、児童書、新着新聞雑誌等の閲覧、目や耳の不自由な方の相談カウンター)

3・4階ライブラリー(仙台市民図書館)

5階ギャラリー 3300(固定壁面を中心とする天井高3,300mmの展示空間)

6階ギャラリー 4200(可動壁面で自由に構成できる天井高4,200mmの展示空間)

7階スタジオ(施設貸出・相談窓口、スタジオシアター、各種スタジオ)

・組織

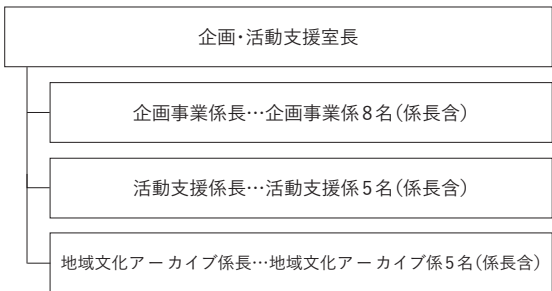
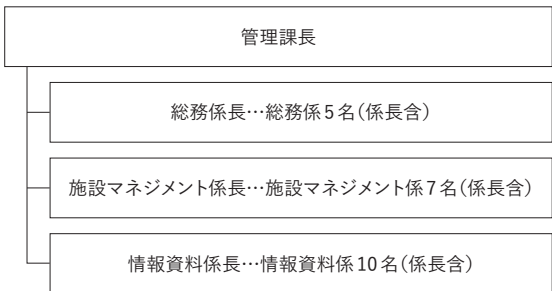
所管 仙台市教育委員会生涯学習部生涯学習課

指定管理者 公益財団法人仙台市市民文化事業団(図書館は仙台市直営)

館長：鷲田清一

副館長：天野美紀

アーティスティック・ディレクター：甲斐賢治



(45名 令和5年[2023年]6月時点)

8-2 沿革

平成元年(1989年)宮城県芸術協会が大型ギャラリーを中心とした美術館建設の要望書提出。

平成4年(1992年)定禅寺通に図書館を併設した市民ギャラリーを建設する方針が定まる。

平成6年(1994年)市民ギャラリー、図書館、映像メディアセンター、視聴覚障害者のための情報提供施設の機能を併せ持つ芸術文化施設とすることが決まる。

平成7年(1995年)設計競技により、伊東豊雄建築設計事務所が選ばれる。

平成9年(1997年)12月着工。

平成12年(2000年)8月竣工。

平成13年(2001年)1月26日開館。仙台ひと・まち交流財団が管理(図書館は仙台市直営)。

グッドデザイン大賞受賞。

平成16年(2004年)仙台ひと・まち交流財団を指定管理者として指定。

平成19年(2007年)業務移管により、仙台市市民文化事業団を指定管理者に指定。

平成20年(2008年)館内フロアレイアウトを一部変更。

平成23年(2011年)開館10周年。地域創造大賞受賞。東日本大震災により休館。

5月3日から一部再開し、翌年1月27日に全館再開。

平成25年(2013年)館長に鷲田清一(哲学者)が就任。

令和3年(2021年)開館20周年。

令和4年(2022年)照明設備等の改修工事を実施。

8-3 収支

令和5年度

(1)収入の部

指定管理料	612,793 千円
事業収入(企画事業、受託事業を含む)	63,566 千円
《内訳》	
・補助金	33,170 千円
・各種助成金	10,197 千円
・入場料等	1,193 千円
・受託事業収入	15,091 千円
・仙台市市民文化事業団自主財源	2,815 千円
・負担金収入	1,100 千円

(2)支出の部

管理運営費(施設の維持管理、情報サービス事業を含む)

	612,793 千円
事業費(企画事業、受託事業を含む)	63,566 千円

8-4 施設使用実績

施設	貸出単位	利用日(週)数／開館日(週)数	日(週)数ベース利用率	利用者数
5階ギャラリー	週	44 ／ 46	95.7%	92,353
6階ギャラリー	週	43 ／ 48	89.6%	68,051
オープンスクエア	日	198 ／ 341	58.1%	82,368
スタジオシアター	1日3区分	159 ／ 323	49.2%	14,855
2階会議室	1日3区分	245 ／ 347	70.6%	2,808
7階会議室	1日3区分	321 ／ 344	93.3%	6,573
プラザ控室 a	1日3区分	151 ／ 349	43.3%	369
プラザ控室 b	1日3区分	168 ／ 349	48.1%	1,165
託児室	1日3区分	12 ／ 349	3.4%	39

使用料等徴収額 61,799 千円

*5 ／ 6階ギャラリーは週数ベース

8-5 仙台市メディアテーク条例

次ページ以降に掲載。

平成一二年三月一七日
仙台市条例第二三号

(設置)

第一条 様々な記録媒体(以下「メディア」という。)による情報を収集し、保管し、及び提供して、市民の自主的な情報の検索、閲覧、記録、発信等の活動を支援するとともに、美術・映像文化の創造又は普及の場を提供し、もって市民の生涯学習の振興に資するため、メディアテークを設置する。

(名称及び位置)

第二条 メディアテークの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
せんだいメディアテーク	仙台市青葉区春日町二番一号

(事業)

第三条 メディアテークは、次に掲げる事業を行う。

- 一 メディアを活用した生涯学習及び文化活動に係る情報・資料の収集、調査研究及び普及啓発に関すること
- 二 美術・映像に係る情報・資料の収集及び提供に関すること
- 三 美術・映像に係る展覧会、講習会その他の催しに関すること
- 四 美術・映像に係る作品の展示又は上映のために施設を提供すること
- 五 視聴覚障害者の情報活動支援に関すること
- 六 その他第一条の目的を達成するために必要と認められる事業

(使用の許可)

第四条 別表に掲げるメディアテークの施設を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 メディアテークの管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不適当と認めるとき

(使用料)

第五条 メディアテークの使用料は、別表に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際、納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

3 前項の規定にかかわらず、駐車場の使用料は、出庫の際、納入しなければならない。

(平一五、七・改正)

(使用料の額の特例)

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第一項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき(使用料が既納の場合を除く。)は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

- 一 天災その他自己の責めによらない事由によりメディアテークの施設を使用できないとき
- 二 市長が別に定める期間内にメディアテークの施設の使用の取りやめを申し出たとき

(平一五、七・追加)

(使用料の返還)

第六条 既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者につき前条各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(平一五、七・改正)

(使用料の減免)

第七条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(目的外使用の禁止)

第八条 使用者は、許可を受けた目的以外にメディアテークを使用してはならない。

(平一五、七・改正)

(使用権の譲渡等の禁止)

第九条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用許可の取消し等)

第十条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又はメディアテークの使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号のいずれかに該当することとなったとき

(指定管理者)

第十一条 教育委員会は、メディアテークの管理運営上必要と認めるときは、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)にメディアテークの管理を行わせることができる。

(平一六、三・全改)

(指定管理者が行う業務の範囲)

第十二条 前条の規定により指定管理者にメディアテークの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

一 第四条第一項の許可に関する業務

二 第三条各号に掲げる事業の企画及び実施に関する業務

三 メディアテークの維持管理に関する業務

四 前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

2 前項の場合における第四条及び第十条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平一六、三・追加)

(指定管理者が行う管理の基準)

第十三条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正にメディアテークの管理を行わなければならない。

(平一六、三・追加)

(委任)

第十四条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

(平一六、三・旧第十二条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この条例の施行期日は、市長が定める。

(平成一二年九月規則第一〇二号で、附則第二項の規定は平成一二年一〇月一日から施行)

(平成一二年一二月規則第一二六号で、平成一三年一月二六日から施行)

(仙台市視聴覚教材センター条例の廃止)

2 仙台市視聴覚教材センター条例(昭和四十七年仙台市条例第二十六号)は、廃止する。

附 則(平一五、七・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平一六、三・改正)

この条例は、平成十六年四月一日から施行する。

附 則(平二八、三・改正)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成二十八年十月一日から施行する。

(使用料に関する経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。

3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規定を適用することができる。

附 則(平三一、三・改正)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。

(使用料及び利用料金に関する経過措置の原則)

2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。

3 施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

別表(第四条、第五条関係)

(平一六、三・平二八、三・平三一、三・改正)

一 各室の使用料

イ ギャラリー

使用区分	金額(一日につき)
五階ギャラリーa	二八、五〇〇円
五階ギャラリーb	二八、五〇〇円
五階ギャラリーc	二八、五〇〇円
五階ギャラリーa、五階ギャラリーb及び五階ギャラリーcの隣接する二室を同時に使用する場合	五二、九〇〇円
五階ギャラリーa、五階ギャラリーb及び五階ギャラリーcを同時に使用する場合	七三、三〇〇円
六階ギャラリーa	三九、七〇〇円
六階ギャラリーb	三九、七〇〇円
六階ギャラリーa及び六階ギャラリーbを同時に使用する場合	七三、三〇〇円
備考	
一 一、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合(第四号に規定する場合を除く。)の使用料は、この表に定める額の二倍とする。	
二 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいい、入場料の額に段階がある場合は、最高の入場料の額をもって入場料の額とする。	
三 五階ギャラリーa、五階ギャラリーb又は五階ギャラリーcのいずれか一室を二分して使用する場合の使用料は、この表に定める	

額の二分之一とする。

四 物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、この表に定める額の三倍とする。

五 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

六 準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第一号又は第四号に規定する場合にあっては、当該各号の規定により定める額)の二分之一とする。

ロ プラザ

使用区分		金額(一日につき)
プラザ	入場料を徴収しない場合	六一、一〇〇円
	入場料を徴収する場合	一二二、二〇〇円
備考		
一 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいう。		
二 物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、この表に定める額の三倍とする。		
三 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。		
四 準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第二号に規定する場合にあっては、同号の規定により定める額)の二分之一とする。		

ハ スタジオシアター及びその他の施設

使用区分		使用時間	午前(午前九時～ 正午)	午後(午後一時～ 午後五時)	夜間(午後六時～ 午後九時三十分)
スタジオ シアター	入場料を徴収しない場合		五、五〇〇円	七、三〇〇円	九、一〇〇円
	二、〇〇〇円以下の入場料 を徴収する場合		一一、〇〇〇円	一四、六〇〇円	一八、三〇〇円
	二、〇〇〇円を超える入場料 を徴収する場合		一六、五〇〇円	二二、〇〇〇円	二七、五〇〇円
プラザ控室 a			二二〇円	三〇〇円	三〇〇円
プラザ控室 b			三〇〇円	四〇〇円	四〇〇円
二階会議室			一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円
七階会議室 a			一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円

七階会議室b	一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円
託児室	六一〇円	八一〇円	一、〇〇〇円
備考 一 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいい、入場料の額に段階がある場合は、最高の入場料の額をもってこの表の入場料の額とする。 二 次のイからハまでに掲げる使用時間に係る使用料は、それぞれイからハまでに掲げる額とする。 イ 午前九時から午後五時まで 午前の欄及び午後の欄に掲げる額の合計額 ロ 午後一時から午後九時三十分まで 午後の欄及び夜間の欄に掲げる額の合計額 ハ 午前九時から午後九時三十分まで 午前の欄、午後の欄及び夜間の欄に掲げる額の合計額 三 この表に定める使用時間以外の時間に使用する場合(前号の場合を除く。)における使用料は、その使用が午前九時以前又は正午から午後一時までのときは午前の欄に、午後五時から午後六時までのときは午後の欄に、午後九時三十分以降のときは夜間の欄にそれぞれ掲げる額を時間割りして計算した額(百円未満の端数が生じたときは、これを百円に切り上げる。)とする。この場合において、その使用に係る時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。 四 スタジオシアターを物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、二、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合の額とする。 五 スタジオシアター以外の施設を物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合(ギャラリー、プラザ又はスタジオシアターの使用を伴わない場合に限る。)の使用料は、この表に定める額の三倍とする。 六 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。 七 スタジオシアターを準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第四号に規定する場合にあっては、同号の規定により定める額)の二分の一とする。			

二 駐車場の使用料

一台につき、駐車時間一時間当たり三百円を超えない範囲内で教育委員会が定める額